

## 情報連絡員からの報告（要旨）

### 《製造業》

#### 食料品製造業

1. <青森県 菓子>  
光熱費、原材料費の値上りが続き、収益が悪化している。人流は増えているが、売上の増加につながっていない。
2. <千葉県 しょう油・食用アミノ酸>  
値上げ交渉はほぼ順調に妥結している。しかしながら、一部の飲食関係の店で厳しい交渉が続いている。値上げ交渉が最大の問題点である認識で全社が取組んでいる。
3. <石川県 調味材料>  
5月度の出荷売り上げは10%増となったが、市販品の実需の増加というより、値上げ時期をにらんだ駆け込みと流通在庫積み増しによる一過性のものではないかと思う。
4. <奈良県 素麺>  
6月から本格的にお中元商戦に入るが、食品の値上げラッシュが起こっている中で、消費者の購買意欲が低下する可能性もあり、先行きは不透明である。
5. <香川県 醤油>  
組合員の4、5月の売上高は、前年同月比で減少傾向にある。6、7月のお中元商戦及び新型コロナ禍が終息した後の消費者動向に注目したい。
6. <長崎県 冷凍水産食品加工>  
輸入すり身の価格が予想以上に上昇しており、需要期の年末には更に40%アップするといわれている。秋口に2回目の製品値上げを検討しているが、到底吸収できる範囲ではない。

#### 繊維・同製品製造業

7. <福島県 縫製>  
5月は例年閑散期であることから低調だったが、今後は短期的ではあるが海外生産から国内生産への切替えによる受注により増加する見込み。
8. <栃木県 絹・レース・繊維粗製品>  
前月同様、売上自体は比較的堅調に推移したが、仕入先からの値上げが異様に続いている。春先から毎月値上げが続き、仕入元からは今後も値上げが続くとの報告が上がっている。
9. <富山県 絹人織織物>  
化合織物について、円安と石油製品の値上がりなどによって諸物価が高騰しているが、織物への価格転嫁が進まず、収益を圧迫している。絹織物については、需要の回復が遅い。
10. <和歌山県 繊維工>  
販売小売りは、コロナ影響が続いており苦戦している。縫製作業は、海外の輸入難から国内製造にシフトが移っており打診が多くなっている。加工賃の値上げを交渉しても、値下げを要望される。
11. <島根県 アパレル等>  
縫製業界は、昨年に比べ受注、工賃、取引条件も改善している。9月に技能実習生がインドネシアから入国する予定だが、初めての国からの受入れのため、期待と不安が交差している。
12. <沖縄県 繊維・同製品>  
県外との往来や外出制限されていた前年同月と比較すると、人流の回復により商品の動きが活発になっている。今後も大きな人流抑制が無ければ前年より景況は好転すると期待している。

#### 木材・木製品製造業

13. <岩手県 一般製材>  
製材品の材料となる原木が高騰している。特にカラマツ原木はロシアのカラマツ単板の輸出禁止等の影響で価格が上昇しており、県内製材所では入手が難しくなっている。
14. <茨城県 プレカット>  
木材品不足の状態は続いており、受注状況は低調である。消耗品等経費は値上げになってきているが、加工賃が上げられないと利益が上がらない。
15. <新潟県 製材>  
島内全体で島内産の原木が動いていない。公共施設での地域材の利用の動きが進んでいるので他団体と協力し更なる利用を働きかけていきたい。

16. <山口県 製材・木製品 >  
 建築・木材業界全体が低迷しており、当地域の工務店は四苦八苦している模様。このたびのウクライナ紛争でロシア材が入荷困難となれば赤松材の不足で関連商品の高騰品薄は確実である。
17. <徳島県 製材 >  
 原木の不足に加え光熱費や燃料代の高止まりなどもあり、現在は好調であっても先行きを不安視する声が多い。県内の住宅着工数は下げ止まりの様相である。
18. <熊本県 一般製材 >  
 原木価格に関しては横這いから上昇傾向にあり、特に合板等の需要によりC材の値上がりが顕著となっている。製品価格はあまり変わらないが、需要は若干停滞傾向にある。

#### 紙・紙加工品製造業

19. <北海道 加工紙 >  
 道内では大手広域ユーザーやホクレン経由農協向け段ボール以外の製品について概ね値上げが完了しているため、販売価格が上昇した。
20. <群馬県 紙製品 >  
 得意先は価格転嫁に理解を示し、価格改定を行ったが取引量は減少した。自動車関連以外の取引先製造業では活気が戻りつつある。
21. <福井県 和紙工 >  
 輸入原料資材の高騰と、円安によって依然として高値取引がされ、商品価格転嫁が出来ない状態が続いている。GW開けの感染状況も落ち着いてきたため、物流の好転を期待したい。
22. <三重県 紙器段ボール >  
 段ボールシートの値上げは、6月からメーカーに押し切られる形で決定した。値上げ幅は8~12%、平均10%となった。各組合員は段ボールケースの値上げを交渉しているが、難航が予想される。
23. <大阪府 古紙収集加工 >  
 新聞古紙の発生は前年同月と比較しても厳しく、また白物古紙もペーパーレスとコロナの影響により大幅な減少となっており、業界全体としての景況は悪化している。
24. <愛媛県 機械すき和紙 >  
 衛生用紙の国内出荷は、前年同月比11.2%増と6ヶ月連続のプラス。原燃料価格・物流費等のコストアップを、製品価格に転嫁するべく値上げ交渉中である。

#### 印刷

25. <宮城県 印刷・同関連 >  
 原材料価格・エネルギー価格の上昇の影響が出てきている。価格転嫁は容易に進んでいない。イベントなどは徐々に行われてきているが、チラシ等の受注はコロナ前までは回復していない。
26. <栃木県 印刷 >  
 相変わらず需要が低迷している一方で、資材価格が高騰してきている。価格転嫁はまだまだ途上の状況であり、収益の悪化に歯止めがかからない。
27. <東京都 金属印刷 >  
 エネルギーコスト、インキ・塗料他全ての原材料価格が上昇している。仕事量は前年より若干増えたが、収益は悪化している。値上げ交渉を継続しているが、なかなか進展していない。
28. <奈良県 印刷 >  
 何年も前から業態変革を啓蒙してきたのが、コロナで一気に加速している。業態変革がうまくいっている企業と、まだ試行錯誤状態のところ、明暗が分かれてきている。
29. <徳島県 印刷 >  
 5月は連休の影響で慌ただしいスタートとなった。働き方改革も含め休みが多く、売上も上がりにくい。用紙や原材料費の高騰も価格転嫁には進んでいない。引き続き厳しい状況が予想される。
30. <佐賀県 印刷 >  
 収益の悪化が進んでいる。材料コスト等の値上りによる価格転嫁はまだ一部に留まっており、理解を求める活動を引き続き行っている。

#### 化学・ゴム

31. <埼玉県 化学ゴム >  
 原材料の入荷に関して、値上げ、遅れ、不足等の影響が特に拡大してきており、今後の見通しが立たなくなっている。
32. <長野県 プラスチック製品 >  
 5月は先月同様得意先からの受注増により成形品が増え、売上は前年同期を上回る結果となった。金型については減であったが、全体としては成形品での増加でカバーできた。

33. <愛知県 高圧ガス >  
荷動きに大きな変動はない。エネルギーコスト上昇に伴う仕入価格上昇も納入価格への転嫁がほぼ終了した。但し、ロシアのウクライナ侵攻の長期化で、先行き不透明感が色濃くなっている。
34. <大阪府 セルロイドプラスチック製品 >  
前月比20%減、前年比25%減と一段と稼働率が落ち、原材料の高騰や販売価格への転嫁も十分ではなく、収益状況は一段と厳しさが増している。
35. <島根県 プラスチック製品 >  
量産品の受注状況、売上は堅調に推移している。新規引き合いについても継続しており、新規受注も堅調。材料の入手については依然として玉石混淆しており、混乱が続いている。
36. <広島県 プラスチック製品 >  
円安と原油高も影響し、原材料高騰が継続しており、今後の業績への悪い影響を危惧している。自動車関連は、状況回復に関して不透明感が強い。

#### 窯業・土石製品製造業

37. <北海道 ガラス >  
材料の仕入金額上昇と各種運搬費の高騰が、じわじわと経営を圧迫してきている。加えて、新規雇用したい施工管理者、営業担当などの雇用が、全く進まない状況である。
38. <山形県 コンクリート製品 >  
原材料の価格が上昇し収益が悪化している。資材価格の上昇率と官公庁設計価格が連動しないため、一部の製品は原価を割る価格で納入する事態が生じている。
39. <大阪府 鍛造 >  
生産量は今月も前年を若干上回り、17ヶ月連続で上昇、全体で前年比1%増加した。一方、自動車向けの生産量は半導体不足や部品不足の影響を受け1前年同月を10%下回った。
40. <山口県 生コンクリート >  
出荷量は、前月比90%、前年同月比94%。セメント・骨材等の資材調達について、現時点では特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定しているが値上げの動きがある。
41. <徳島県 生コンクリート >  
5月の出荷数量は、対前年同月比14%減であった。要因としては民間での小口工事はあるものの、官での大型工事が終わり、それに代わる新規物件の減少による。厳しい状況に変わりない。
42. <宮崎県 窯業・土石製品 >  
5月は雨が多く、過去最低の出荷数量となった。今年度は大型物件がある程度控えているが、来年度の見通しは暗い。来年度を見越して組合全体で今期に何ができるか大きな変換点を迎える。

#### 鉄鋼・金属製造業

43. <福島県 鉄工 >  
鋼材・消耗品（塗料、溶接材）等の値上げが続き、受注時期が資材等の手配よりも早いため、加工費が下がってしまう問題が多くなっている。工期の長い工事については受注を差し控えている。
44. <栃木県 金属製品 >  
自動車関連においては、依然として半導体不足やコロナ関連による上海ロックダウンの影響など、部品不足での稼働停止が相次ぎ、下請け零細企業は減産や休業を余儀なくされている。
45. <石川県 鉄素形材 >  
5月は大型連休もあり、売上は落ちるが建機業界は依然、好調である。一方、上海のロックダウンの影響で物流支障による部品調達ができず在庫が増えており、今後の生産調整が心配である。
46. <岐阜県 鋳物 >  
中国上海のロックダウンの影響などで、あらゆる分野で部品供給不足による減産が起こっている。相変わらず、原材料、電力料金などの高騰が続いて、顧客との値上げ交渉が続いている。
47. <香川県 鍍金 >  
原材料、副資材の異常とも思える高騰と、電気・電子部品の大幅納期（入荷の）遅れが、各社の経営に影響を及ぼしている。
48. <鹿児島県 金属製品 >  
鋼材価格の高騰が再来している。燃料等の値上げも大変厳しくなっており、紛争の影響が少なからずあると感じる。見積りが減少しており、先行きに不安を感じる。

#### 一般機器製造業

49. <北海道 金属工作機械 >  
受注状況は順調だが、原材料（鋼板）の値上りが激しく、全て販売価格に転嫁できていない。時間を置いた値上げとなるため、その間、収支圧迫要因となる。

50. <秋田県 金属加工 >  
地域内の同業者の大半が相応の受注を抱えており、順調に推移している。しかしながら、原材料価格の高騰に加え電気料金や燃料代も30%程度値上りしており、コスト増が深刻となっている。
51. <栃木県 一般機械器具 >  
ウクライナ情勢・中国のロックダウン等による部品不足の影響が大きく、減産が続く景気は全く良くならない状況である。また、円安により仕入価格が上昇し利益率を押し下げる結果になっている。
52. <新潟県 機械器具 >  
輸入部品が入らない為、生産活動が低下している。人員の確保も非常に困難な状況である。受注は回復しているが、客先にて電子部品の調達が難航しており予定通り部品が支給されてこない。
53. <奈良県 機械 >  
受注・引合いとも全般的に低迷した状況が続いている。リード役の自動車業界も減産の影響が大きく厳しい状況にある。そんな中で、大型重機、災害関連機器の部品加工が堅調に推移している。
54. <佐賀県 機械金属 >  
建築案件は大型物件が多数あり、大手鉄工所はフル稼働が継続しているものの中小案件は低調で、中堅以下の鉄工所は仕事量が少なく大手の下請けで凌いでいる状況である。

### 電気機器製造業

55. <東京都 配電盤 >  
部品値上げに加え、原材料（鉄、銅など）高騰により収益悪化が著しい。手元資金により何とか支えているが、長期化すれば大変厳しい状況も懸念される。
56. <長野県 電子機械器具 >  
中小企業の人材不足が深刻になっている。事務職はすぐに集まるが、現場の従業員が全く来ない状態である。企業間の較差がかなり広がり始めている。
57. <静岡県 電気機械器具 >  
大型冷蔵庫は好調な販売に対応した生産が概ね遂行できている。家庭用と業務用エアコンは、部材調達難により計画通りの生産ができず、市場要求に答えられない状況が続いている。
58. <京都府 一般機械器具 >  
コロナ禍のなか事業活動の自粛・制限があったが、緩和の動きにより対面による事業活動が活発化し始めた。一時中断されていた外国人技能実習生の受け入れも再開した。
59. <広島県 電気機械器具 >  
3～4月における増加の反動もあり、売上は前月比30%、前年同月比25%減少となった。上海のロックダウンが長引いた影響で、日本国内メーカーからの受注も減少傾向にある。
60. <長崎県 電気機器 >  
新型コロナウイルス感染症の影響により受注が減少していることから、当面の売上減少は避けられない。部品の欠品や納期遅延から製作に影響があり、受注を逃すこともある。

### 輸送用機器製造業

61. <群馬県 自動車・同附属品 >  
自動車業界では半導体不足の影響による減産が続く。下請企業でも納入先の突発的なラインの停止が発生し対応に苦慮している。資材に加えエネルギー価格の上昇が収益を圧迫している。
62. <岐阜県 輸送用機器 >  
組合員の主要事業である航空宇宙関係の直近の売上高は、ピーク時の半分相当であるが、直近の対前年同月比はほぼ横ばい状態で、ようやく下げ止まった感がある。
63. <静岡県 輸送用機械器具 >  
材料等の確保のための在庫の増加が資金繰りに影響を及ぼしている。また、電力等エネルギー価格の上昇が収益を圧迫している。
64. <愛知県 輸送機器 >  
コロナの影響が継続中のなか、資金繰りにも不安を抱える企業が出てきた。トヨタの生産抑制や半導体不足の影響に加え、鋼材価格の高騰もあり、計画通りに進まない状況下にある。
65. <兵庫県 輸送用機械器具 >  
前年同月比3.8%の増収であり、新年度に入り売上高が少し増えてきている。但し、主要取引先の船舶、機械部門は明るい材料に乏しく安心できない状況であるが、今後に期待したい。
66. <大分県 造船 >  
海運業は円安等で高益を上げ、船舶の受注も好転し、各造船所は2～3年先の仕事を確保している。工期の短縮等により増員を求められる可能性が高く、即戦力の人材確保を求められる。

## その他の製造業

67. < 福 島 県 漆 器 >  
百貨店等の動きは現在もないが、一方で長期連休中の観光客の入りは悪くなく、直販部門の売上は久しぶりにコロナ禍以前の売上を上回った。
68. < 東 京 都 ネームプレート >  
少しずつ受注量が増加してきたが、まだまだ小規模・限定的なため多品種少量生産の傾向がある。素材供給が不安定なため、在庫を増加せざるを得ない。このため、支払いが先行し資金繰りが悪化している。
69. < 福 井 県 眼鏡 >  
受注状況に変化はないが、原材料の供給不足に加え、分業体制による各工程での生産水準が上がらずボトルネックになっており、生産スペース確保に苦慮する状況も見られる。
70. < 愛 知 県 工業用模型 >  
自動車メーカーの計画が先送りになっているようで、その影響が出てきているように見られる。不安要素が多く不安定な状態が続いているところが多いようだ。
71. < 和 歌 山 県 その他 >  
原材料の価格が高騰し、すぐに値上げできない商品もあり困っている。大量に注文があれば値上げしやすいが、少量の注文が殆どなので値上げしづらい。
72. < 高 知 県 装飾品・同関連品 >  
5月の取引額は前年同月比180%となった。しかし、令和元年同月と比べると71%であり、コロナ禍前の水準までは戻っていない。コロナの影響により消費者の購買力が依然低調である。

## 《非製造業》

### 卸売業

73. <宮城県 ゴム製品 >  
5月は連休等で稼働日数が少ない割には多少活性化している様を感じるが、商材の価格改定は止まらず、1年間で2度の改訂をするメーカーも多く、今後も値上りの状況が続くと予想している。
74. <東京都 食器 >  
殆どの商材が値上がりしている。組合員各社は取引先に対し値上げ申請のための見積書作成に追われている。5月は値上げ前の駆込み注文が増えたが、今後は注文減となることが予想される。
75. <山梨県 自動車中古部品 >  
新車販売台数は前年同月比▲12%となり、いまだに納車の遅れは改善されていない。廃車の発生も3~5割ほど減少しているため厳しい状況ではある。
76. <滋賀県 食料品市場 >  
野菜の入荷量は全体で前年比109%、単価は前年比123%、果物は全体で前年比60%減少、単価は前年比100%。水産は、鮮魚、冷凍は入荷順調。加工品は入荷が安定している。
77. <鳥取県 水産 >  
紅ズワイガニは輸入ガニ不足のこともあり生鮮向けの需要も高く、また、漁期も終盤になってくることから加工関係の買いも強く、浜値高で推移した。
78. <熊本県 各種商 >  
営業活動は、徐々に対面での取引に戻りつつある。建設資材関連の組合員は取引先ゼネコン等の工事内容により変動はあるが順調である。仕入価格の上昇と納期の遅れが不安材料である。

### 小売業

79. <北海道 燃料 >  
5月も原油価格は大きく上昇したものの国の元売りに対する補助によりSSでの販売価格は若干の値下げとなった。組合員の収支状況は量販店に引きずられ相変わらず圧縮状態が続いている。
80. <栃木県 食肉 >  
全ての原料仕入価格が上がり、値上げが追いつかない。原油・電気を初め一般経費も値上りしているが、売価に反映できないため、困惑している。
81. <山梨県 飲食料品 >  
玉ねぎやジャガイモの仕入価格が、今までに経験したことのないほど高値となり収益を圧迫している。様々な物の価格が上昇し諸経費が増加、収益状況は悪化した。
82. <岡山県 自動二輪車 >  
新車の入荷は相変わらず少なく、中古車は高止まりの状況である。バイクブームのお陰で修理・カスタマイズで利益が出ている。
83. <高知県 中古自動車 >  
因果関係は不明だが、来店客数が著しく減少している。展示車両不足は慢性的な相場高騰が一因であるが、問合せ件数も減少しているため、今後の消費者動向に注視しなければならない。
84. <鹿児島県 鮮魚 >  
大型連休は制限なしで移動でき、少し動きがあった。量販店の中には、内食が増え実績が伸びた店もあるが、飲食店に納入している魚屋は厳しい状況が続いている。

### 商店街

85. <福島県 商店街 >  
新型コロナウイルスが落ち着いてきているにも関わらず、商店街への客足は鈍く、厳しい状況が続いている。
86. <茨城県 商店街 >  
仕入商品及び水道光熱費の高騰が著しく、販売価格を上げると売上が減少してしまう最悪の状況である。我々のような中小企業では、努力と我慢で何とかなる状況ではない。
87. <富山県 商店街 >  
新型コロナウイルス感染症対策で休業している店舗はなく、少しずつ平常に戻りつつある。飲食店では、グループや多数数の利用はまだ少ない。商店街の入込客は、昨年比では変化はない。

88. <京 都 府 商店街 >  
今年のゴールデンウィークは昨年よりも人通りが増え、コロナ禍前くらい多かったが、やはり繁盛しているのは飲食関係ばかりで、物販店では6～7割方しか戻っていないようだ。
89. <山 口 県 商店街 >  
連休を終えて飲食店の回復は見られるが、まだ平日は少なく回復度は7割程度。夜間の飲食業界は依然として不振。物販、サービスの小売業界は一向に好転しない。
90. <宮 崎 県 商店街 >  
コロナは出続けているが、以前ほど気にしない傾向があり、街にも人が出てきている。特筆すべきは原材料が何もかも値上げになり、単価を上げないとやっていけない店舗が多い。

## サービス業

91. <岩 手 県 旅行 >  
「県民割」の地域ブロックへの対象拡大等により、旅行を手控える要因が取り除かれ旅行需要の回復が見られる。5月単月ではコロナ禍前まで回復しており、教育旅行の回復が要因と思われる。
92. <東 京 都 廃棄物処理 >  
新型コロナウイルスの感染状況が収束に向かう中で、ごみの量は回復傾向にある。ただし、使用車両（ごみ収集車）、ガソリン、軽油価格の高騰による収益の悪化が継続している。
93. <和 歌 山 県 宿泊 >  
GWはほぼ満室の状況で、売上も好調に伸びていたが、連休明けは下降気味で前年比10～50%増の状況である。「GoToトラベル事業」も再開すると思われるので、観光客の増加を期待している。
94. <広 島 県 広告 >  
例年閑散期ではあるが、過去にないくらい稼働していない。コロナも落ち着いてきているが、社会情勢の悪化に伴い全く上昇気配はない。更に、取引先の倒産等、今後益々厳しくなると思われる。
95. <高 知 県 普通洗濯 >  
ホームクリーニングは需要が回復しつつあるが、コロナ前ほどではない。燃料・原材料の高騰を受けて価格値上げが一段と浸透している。ホテルリネンも回復しているが、宴会需要は少ない。
96. <福 岡 県 リネンサプライ >  
コロナの影響から徐々に抜け出しつつあるが、物価の上昇により仕入価格が上がり、さらに配送用の燃料や工場用の光熱費の上昇が大きく、収益状況はよくない。

## 建設業

97. <青 森 県 管工事 >  
5月も管工事に係る全てが値上がりしており、その価格を施主に要求できないのが実情。更に業界の資材関係が7月には概ね10%値上げされる予定である。
98. <群 馬 県 一般土木建築工事 >  
資材価格が上昇しており収益を圧迫している。民間工事を受注した一部企業では資材価格上昇を理由に工事の中止、または延期を行った事例も見られる。
99. <静 岡 県 職別工事 >  
昨年同時期に比べ設備投資が活発になり、かつ大型化した工事が動き出している。それにより、人手不足は全国的に顕著で夏に向けかなりのひっ迫が予想されている。
100. <広 島 県 工事 >  
カーテン、敷物、壁装クロス等の3品目合計で5月は29.9%減少、前年同月比33.1%減少。新規物件減少、材料は値上げのなか、工事店は元請に対し粘り強い価格転嫁交渉が必要となっている。
101. <愛 媛 県 建設 >  
資材価格の高騰が工事費に十分転嫁できておらず、手持工事の採算悪化が危惧される。発注量も減少しており、手持ち工事のない組合員が散見されている。
102. <佐 賀 県 鉄構 >  
手持ち工事量、工場稼働率は前月と不変だが新規見積件数が少なく、夏以降の仕事量に不安材料が出ている。大型案件が多い反面、中小案件の動きは鈍く、回復しているが二極化している。

## 運輸業

103. <茨 城 県 一般貨物 >  
顧客の出荷物量は引き続き低調に推移している。燃料価格は政府補助金があっても高値安定し、収益はますます厳しい状況にある。
104. <東 京 都 貨物自動車 >  
燃料価格が高値で安定している。ウクライナ情勢により天然ガス（CNG車用）の高値が続いている。

105. <奈良県 軽貨物運送 >  
チャーター便は受注件数・売上とも前年比140%程度の予測。製造業・建設関連業で上昇傾向がみられる。引越し便は単身者の引越しが減少し、家具・家電1～2点の移動が中心。
106. <滋賀県 貨物輸送 >  
半導体不足と部品不足が一段と厳しく、あらゆる産業に影響し生産調整は改善されない。GWにて稼働日も減少し、今後の事業運営不安が募る。先行きの予想の対応が読めず、なすすべがない。
107. <広島県 道路貨物運送 >  
軽油価格は、規制緩和による補助金支給増額により、下降した。燃料サーチャージ制の導入に関して、荷主企業の理解を得ることが難しく、現状、大半の運送会社は導入できていない。
108. <鹿児島県 運輸 >  
食品の値上げラッシュで物量が多くなると思っていたが、大きくは膨らまなかった。野菜は月初め多かったが、昨年の巣ごもり需要程の貨物量はなかった。

#### その他の非製造業

109. <宮城県 不動産 >  
上海のロックダウンの影響は、給湯器等の部品不足によりリフォームの遅れ等で販売に影響が大きく出ている。部品一つの不足でマンションの販売が延期になっている物件もある。
110. <神奈川県 不動産 >  
コロナの規制が一切解除され日常が戻りつつあるものの、物価上昇の不安からか極端な購入意欲の低下を感じる。中小企業・個人事業従事者は収入の減少から家賃の滞納が相変わらず増加している。
111. <山梨県 老人福祉・介護 >  
需要は増えているが人手が足りず断っている状況。依頼を受けることができない状況が続き、依頼自体が減少してきていると感じている。
112. <兵庫県 物品賃貸 >  
イベント・店舗装飾等の案件が増えてきている。前年度の受注状況から改善され、期待のもてる年度とされているが、資材、燃費等の価格上昇が懸念材料である。
113. <岡山県 信用組合 >  
原油高騰による収益悪化の拡大により、中小零細企業は販売価格への転嫁に時間がかかる為、その間の資金繰り支援を手厚く行うとともに、目先の課題解決を図る伴走支援を強化していきたい。
114. <福岡県 貸金業等非預金信用機関 >  
コロナ禍の中、ウクライナでの戦争勃発により、安全資産である金の取引価格が急騰し金の買取増加はあったが、一方で、個人消費の停滞による本業の質預かりの減少、質在庫の減少が依然続いている。